

Stand UP!

2016年2月12日

発行責任者 佐久間 晃史

NO. 23 編集責任者 情 宣 部

国労さん、あなたたちは何がしたいのですか？

貨物労組を批判している内容のビラが国労の掲示板に貼られ、「会社施策に追随し社員に犠牲を転嫁する代弁者」と妄想を膨らませているが・・・

それでっちあげですよ？

28年度の鉄道事業部門黒字化のために「収入拡大」には努力するが、経営陣の自己保身の「コスト削減」「賃金削減」には断固反対の姿勢である。このことは新春フォーラムで会社幹部の前でも明らかにしている。

↑何でこの部分書かない？

「「構造矛盾」の解決なくして鉄道貨物輸送の発展はない！」と言っているが国労は具体的に何をするのか？

貨物労組はJR貨物の構造的諸問題を解決し、組合員の職場と仕事と生活を絶対を守るために「たしろかおる応援プロジェクト」を全力で取り組んでいる。国労の言う「構造矛盾」を解決し、組合員の未来を真剣に考えているならば、「たしろかおる応援プロジェクト」に取り組んでみてはどうだろうか？

貨物労組批判ばかりしていても組合員は守れないぞ!?

国労は組合員より組織の存続が重要なんですね。

(貨物にいる国労組合員残り440名)